中村設計新聞
第百四十号
二〇二五（令和七）年十一月二十八日（金）発刊
HPはこちらから

代表取締役あいさつ

この度、代表取締役に就任いたしました岩田信一です。平素は、何かとお世話になり厚く御礼申し上げます。

１９６６年９月に中村政慶が「中村建築事務所」として京都の地で創業しました。「株式会社中村建築設計事務所」を経て「株式会社中村設計」として建築設計業務を続けさせていただき、来年創立６０周年を迎えます。

代々受け継いできた『建築主の夢を具現化する』を基本姿勢に、建築主の良きパートナーとして邁進する所存です。

これからも初心を忘れず誠心誠意努力を重ねていく所存でありますので、所員一同よろしくお願い申し上げます。

全員会・食事会

第５８期第１回全員会を開催し、第５７期決算報告会、経営についての説明、今期の取組み方針を共有しました。研修会後、食事会が開催し、美味しい食事と共に気持ちを引締めました。また、勤続十年の表彰も行いました。

全員会　風景

勤続十年表彰
（前田直美）

現場見学会

当社が設計・監理業務を担当している佛教大学二条キャンパス２号館建設工事にてスペースデザインカレッジ京都・大阪校、京都建築大学校の現場見学会を実施しました。

京都建築大学校の見学を担当しました。学生のうちにこんなにも大規模な現場に立ち入る機会があるのはとても貴重な経験であり、学びの場になると思いました。

私自身も見て、下地の組み方、部材の納まり等教科書では理解しづらいディティールを間近で確認することができ良い経験となりました。

今回現場を見学された学生は３回生ということで、今後の就職活動を行っていく上で今回の現場見学会が少しでも参考になれば光栄に思います。

柴田優斗

設計概要説明の様子

現場見学の様子

所員の思い出スポット

新企画「所員の思い出スポット」では、印象に残っている建築や街並み、地域等を紹介します。

家族との思い出、建築を志すきっかけとなった建物、人生で一番美しかった場所等、所員それぞれの記事をお楽しみ下さい。では、早速第１回目です。

【自由学園明日館】

西池袋に位置し、Ｆ・Ｌ・ライト設計、１９２７年竣工、１９９７年に国の重要文化財に登録。

大学生の時に初めて一人で東京を訪れた際に見学しました。外観は正面のホールの幾何学的なデザインがシンプルながら、とても印象に残っています。このデザインは平等院鳳凰堂から着想したと言われています。内部は細部までこだわりのある装飾、自然光による厳かな空間には思わず、うわぁと声が漏れました。こんなに素敵な空間で授業を受けていた当時の学生が羨ましいです。

コロナ禍以降訪問できていないので、近いうちに再度訪れ、今は何を感じるのかを確かめたいと思います。今一番訪れたい建築の一つです。

前田直美

外観　正面ホール

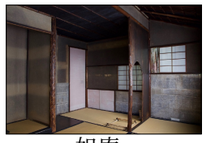
内部　ホール

内部　食堂

所員紹介

今回は経理の茶谷勝子さんへのインタビューです。

Ｑ：座右の銘は何ですか。
Ａ：喫茶去
（きっさこ：分け隔てなくいつでもどうぞ。）
Ｑ：趣味は、何ですか。
Ａ：料理・お茶
Ｑ：推しの建築物は何ですか。
Ａ：国宝茶室「如庵」
Ｑ：ストレス解消法は何ですか。
Ａ：ジョギング
Ｑ：足のサイズは何㎝ですか。
Ａ：２４～２５㎝



如庵

クリスマスツリー

早くも今年も残すところ一か月となりました。毎年クリスマスツリーの準備をしながら季節の移り変わりを感じつつ、あっという間に年末を迎えることに驚いています。

体調管理に気を付け、年内しっかりと業務に取組んでいきます。これから寒い日が続きますので、皆様も体調にお気を付け下さい。

玄関をきれいに彩ってます。

新たな中村設計新聞

日々、中村設計新聞をご愛読いただきありがとうございます。おかげさまで第１４０号の発刊となりました。今号より中村設計新聞をリニューアルし、より皆様に中村設計について知っていただき、楽しんでいただける情報を発信できるように務めてまいります。今後も新たな企画を計画中です。これからも中村設計新聞をよろしくお願い致します。

次号は１２月末日発刊予定です。